高耐久性屋根用塗料 水　性 弱溶剤形

ヤネフレッシュ※シリーズ

コロニアル・カラーベストなどの薄型塗装瓦やトタン屋根の塗り替えに最適です

※トタン屋根には弱溶剤形のみ適用可能

防かび・防藻

超耐久水性アクリルシリコン樹脂塗料
水性ヤネフレッシュシリコン

超耐久水性ふっ素樹脂塗料
水性ヤネフレッシュフッソ

超耐久NAD型特殊ポリウレタン樹脂塗料
ヤネフレッシュ

超耐久NAD型特殊シリコン樹脂塗料
ヤネフレッシュSi

超耐久弱溶剤形特殊ふっ素樹脂塗料
ヤネフレッシュF

エスケー化研

高耐久性屋根用塗料

ヤネフレッシュ シリーズ

超耐久水性アクリルシリコン樹脂塗料
水性ヤネフレッシュシリコン

超耐久水性ふっ素樹脂塗料
水性ヤネフレッシュフッソ

超耐久NAD型特殊ポリウレタン樹脂塗料
ヤネフレッシュ

超耐久NAD型特殊シリコン樹脂塗料
ヤネフレッシュSi

超耐久弱溶剤形特殊ふっ素樹脂塗料
ヤネフレッシュF

ヤネフレッシュシリーズは、コロニアルやカラーベストなどの薄型塗装瓦や、トタン屋根（対象は弱溶剤形）の塗り替え用として開発された、耐久性の高い屋根用塗料です。優れた耐候性・付着性を示し、長期間安定した性能を発揮します。
このヤネフレッシュシリーズには、水性タイプと弱溶剤タイプがある他、主要構成成分としてふっ素樹脂系、アクリルシリコン樹脂系、ポリウレタン樹脂系があり、施工環境や要求される耐久性能によって使い分けることができます。

特　長

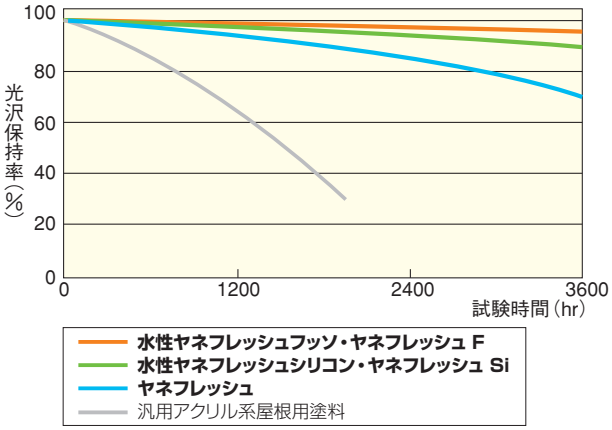
優れた隠ぺい性

隠ぺい力が高いため、下地の透けがありません。

超耐久性

ウレタン結合（ヤネフレッシュ）、シロキサン結合（水性ヤネフレッシュシリコン・ヤネフレッシュＳｉ）、ふっ素結合（水性ヤネフレッシュフッソ・ヤネフレッシュＦ）の強靭な塗膜は、酸性雨や熱・紫外線に対して優れた抵抗性を示します。

■ 促進耐候性試験結果（キセノンランプ法）



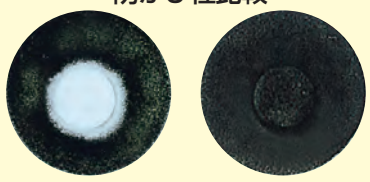
安全性　水性ヤネフレッシュシリコン 水性ヤネフレッシュフッソ

水性のため引火性がなく、安全であり、作業性の向上に役立ちます。

防かび・防藻性

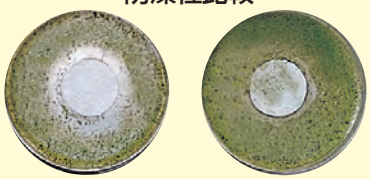
特殊設計により、優れた防かび・防藻性を発揮します。

防かび性比較



ヤネフレッシュシリーズ　汎用屋根用塗料

防藻性比較



ヤネフレッシュシリーズ　汎用屋根用塗料

優れた密着性

旧塗膜に対して優れた浸透性を示し、優れた密着性を発揮します。

良好な作業性

刷毛、ローラー、エアレスなど、いずれの塗装機器でも施工が可能です。

屋根を護る

高耐久性塗膜が

弱溶剤形

■ ヤネフレッシュ・ヤネフレッシュSi・ヤネフレッシュ F 標準施工仕様

■ 共 通 ①（コロニアル・カラーベスト・スレート屋根） （23℃）

工　　程	材　　料	調　合（重量比）	所要量（kg / m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備　　考
下地調整 ※1、2	●高圧水洗（10～15MPa）で、ごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。 ●高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわし等で表面に付着したごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。							―
1. 乾　燥 ※3	水洗後は、十分に乾燥を行ってください。（冬期3日以上、夏期2日以上） また、下地が雨や結露で濡れている場合も、十分に乾燥を行ってください。							―
2. 下　塗　り ※4、5、6、7	マイルドシーラーEPOクリヤー　主　剤	100	0.15～ 0.25	1 ～ 2	3以上	3 以 上 7日以内	―	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/ 分 パターン幅：25～30cm
	マイルドシーラーEPO　硬化剤	33.3						

■ 共 通 ②（トタン屋根） （23℃）

工　　程	材　　料	調　合（重量比）	所要量（kg / m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備　　考
下地調整 注1	●ディスクサンダー、ワイヤーブラシなどで、さびを完全に除去してください。 ●高圧水洗で浮き・劣化塗膜などを完全に除去した後、乾燥させてください。 ●ゴミ・油・汚れなどを完全に除去し、清浄な面としてください。 ●また、下地が雨や結露で濡れている場合も、十分に乾燥を行うか、モップなどで水分を拭き取ってください。							―
下　塗　り 注2、3 ※5、6、8、9	SKマイルドボーセイ　主　剤	100	0.14 ～ 0.17	1	―	6 以 上 14日以内	―	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/ 分 パターン幅：25～30cm
	SKマイルドボーセイ　硬化剤	25						
	塗 料 用 シ ン ナ ー　A	0 ～ 10	―					

注１ 塗り替えでは、必ず高圧水洗またはブラシによる水洗いを行ってください。これが不十分な場合、光沢のある仕上がりが得られなかったり、経年後、塗膜の膨れ・剥がれなどの原因になることがあります。また、金属露出部がある場合は発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取ってください。水洗時は滑りやすくなるため、安全には十分ご注意ください。

注２ 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合（全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが 0.5N ／㎟以下、またはガムテープによるクロスカットテーピング試験で剥離が見られる場合など）や、腐食が進行している場合（赤さびが発生している場合）、過酷な環境条件下及び耐久性を必要とする場合は、脆弱塗膜を全て除去した後、★ミラクボーセイM（18kg セット）をご使用ください。

注３ 作業環境や形状によってさびを完全に除去できない部位には、下塗材を塗装する前に、あらかじめ★サビフィックス（18kg セット、4.5kg セット）で補修塗りを行ってください。

■ ヤネフレッシュ （23℃）

工　　程	材　　料	調　合（重量比）	所要量（kg / m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備　　考
3. 上　塗　り ※5、6、8、10	ヤネフレッシュ　主　剤	100	0.26 ～ 0.30	2	3 以 上 7日以内	―	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/ 分 パターン幅：25～30cm
	ヤネフレッシュ　硬化剤	14.3						
	塗 料 用 シ ン ナ ー　A	0 ～ 20	―					
4. 縁　切　り ※11	水切り部などで上下の瓦が塗料で接着した箇所は、縁切りを行ってください。							―

■ ヤネフレッシュ Si （23℃）

工　　程	材　　料	調　合（重量比）	所要量（kg / m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備　　考
3. 上　塗　り ※5、6、8、10	ヤネフレッシュSi　主　剤	100	0.26 ～ 0.30	2	3 以 上 7日以内	―	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/ 分 パターン幅：25～30cm
	ヤネフレッシュSi　硬化剤	14.3						
	塗 料 用 シ ン ナ ー　A	0 ～ 20	―					
4. 縁　切　り ※11	水切り部などで上下の瓦が塗料で接着した箇所は、縁切りを行ってください。							―

■ ヤネフレッシュ F （23℃）

工　　程	材　　料	調　合（重量比）	所要量（kg / m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備　　考
3. 上　塗　り ※5、6、8、10	ヤネフレッシュF　主　剤	100	0.26 ～ 0.30	2	3 以 上 7日以内	―	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/ 分 パターン幅：25～30cm
	ヤネフレッシュF　硬化剤	14.3						
	塗 料 用 シ ン ナ ー　A	0 ～ 20	―					
4. 縁　切　り ※11	水切り部などで上下の瓦が塗料で接着した箇所は、縁切りを行ってください。							―

※１ 必ず高圧水洗またはデッキブラシ、たわしによる水洗いにより、ごみや汚れ、こけ、死膜の除去を行ってください。特に瓦の重なり部分は、入念にワイヤーブラシを用いて除去してください。これらが不十分であれば均一な仕上りが得られなかったり、経年後、塗膜の膨れ、剥がれなどの原因となることがあります。また脆弱な旧塗膜は完全に除去してください。

※２ 水洗時は滑り易くなるため、安全には十分ご注意ください。

※３ 水洗後や、降雨、降雪後の乾燥を十分に行ってください（冬期3日以上、夏期2日以上）。乾燥が不十分な場合、密着性が低下し、塗膜の膨れ、剥がれなどの原因となることがあります。

※４ 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合（全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが0.5N ／㎟以下、またはガムテープによるクロスカットテーピング試験で剥離が見られる場合など）は、脆弱塗膜を全て除去した後、下塗材に★ミラクシーラーEPO（15kgセット、6kgセット）をご使用ください。

※５ 可使時間は5時間（23℃）です。可使時間を越えた材料は下地への浸透性や下地強化能力を含めた物性低下の原因となるため、使用しないでください。

※６ 下塗材、上塗材の所要量は、下地の劣化の状況や形状により増減する場合があります。

※７ この他、★一液マイルドシーラーESクリヤー（14kg石油缶）も使用できます。ただし下地の劣化状況によっては適用できない場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

※８ 材料の希釈には必ず★塗料用シンナーAを使用し、他の材料の使用は避けてください。

※９ ★SKマイルドボーセイの★塗料用シンナーAでの希釈率は、主剤100に対して、スプレー塗り時で「5～10」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。

※10 ★ヤネフレッシュ／Si／Fの★塗料用シンナーAでの希釈率は、主剤100に対して、スプレー塗り時で「10～20」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。また、希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。

※11 瓦の上下に隙間がないと結露水の通気が不十分となり、素材の腐食、漏水の原因となる場合があります。

水　性

■ 水性ヤネフレッシュシリコン・水性ヤネフレッシュフッソ 標準施工仕様

コロニアル・カラーベスト・スレート屋根

■ 共　通

（23℃）

工　程	材　料	調　合（重量比）	所要量（kg / m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備　考
下地調整 ※1、2	●高圧水洗（10～15MPa）で、ごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。 ●高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわし等で表面に付着したごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。							—
1. 乾　燥 ※3	水洗後は、十分に乾燥を行ってください。（冬期3日以上、夏期2日以上） また、下地が雨や結露で濡れている場合も、十分に乾燥を行ってください。							—
2. 下　塗　り ※4、7	水性ヤネフレッシュシーラー	既調合	0.10～0.15	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
2'. 下　塗　り ※5、6、7、8	マイルドシーラーEPOクリヤー　主　剤	100	0.15～0.25	1～2	3以上	3以上 7日以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
	マイルドシーラーEPO　硬化剤	33.3						

■ 水性ヤネフレッシュシリコン

（23℃）

工　程	材　料	調　合（重量比）	所要量（kg / m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備　考
3. 上　塗　り ※7、9	水性ヤネフレッシュシリコン	100	0.28～0.32	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
	清　水	5～15	—					
4. 縁　切　り ※12	水切り部などで上下の瓦が塗料で接着した箇所は、縁切りを行ってください。							—

■ 水性ヤネフレッシュフッソ

（23℃）

工　程	材　料	調　合（重量比）	所要量（kg / m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備　考
3. 上　塗　り ※7、9	水性ヤネフレッシュフッソ	100	0.28～0.32	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
	清　水	5～15	—					
4. 縁　切　り ※12	水切り部などで上下の瓦が塗料で接着した箇所は、縁切りを行ってください。							—

アスファルトシングル

■ 水性シングルサーフ＋水性ヤネフレッシュシリコン艶消し

（23℃）

工　程	材　料	調　合（重量比）	所要量（kg / m²）	塗回数	間隔時間（hr） 工程内	工程間	最終養生	備　考
下地調整 ※1、2	●高圧水洗（5～10MPa）で、ごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。 ●高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわし等で表面に付着したごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。 ●シングル部材の反った部分は接着剤で接着を行ってください。							—
1. 乾　燥 ※3	水洗後は、十分に乾燥を行ってください（冬期3日以上、夏期2日以上）。 また、下地が雨や結露で濡れている場合も、十分に乾燥を行ってください。							—
2. 下　塗　り ※7、10	水性シングルサーフ	100	0.5～0.9	1	—	4以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
	清　水	3～15	—					
3. 上　塗　り ※7、11	水性ヤネフレッシュシリコン艶消し	100	0.28～0.32	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
	清　水	5～15	—					
4. 縁　切　り ※12	上下のシングル部材が塗料で接着した箇所は、縁切りを行ってください。							—

※1　必ず高圧水洗またはデッキブラシ、たわしによる水洗いにより、ごみや汚れ、こけ、死膜の除去を行ってください。特に瓦の重なり部分は、入念にワイヤーブラシを用いてこれらを除去してください。これらが不十分であれば均一な仕上りが得られなかったり、経年後、塗膜の膨れ、剥がれなどの原因となることがあります。また、脆弱な旧塗膜は完全に除去してください。
※2　水洗時は滑り易くなるため、安全には十分ご注意ください。
※3　水洗後や、降雨、降雪後の乾燥を十分に行ってください（冬期3日以上、夏期2日以上）。乾燥が不十分な場合、密着性が低下し、塗膜の膨れ、剥がれなどの原因となることがあります。
※4　水性ヤネフレッシュシーラーは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けると共に、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
※5　下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合（全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが0.5N／㎟以下、またはガムテープによるクロスカットテーピング試験で剥離が見られる場合など）は、脆弱塗膜を全て除去した後、下塗材に★マイルドシーラーEPOクリヤーまたは★ミラクシーラーEPO（15kgセット、6kgセット）をご使用ください。
※6　可使時間は5時間（23℃）です。可使時間を越えた材料は下地への浸透性や下地強化能力を含めた物性低下の原因となるため、使用しないでください。
※7　下塗材、上塗材の所要量は、下地の劣化の状況や形状により増減する場合があります。
※8　この他、★一液マイルドシーラーESクリヤー（14kg石油缶）も使用できます。ただし下地の劣化状況によっては適用できない場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
※9　水性ヤネフレッシュシリコン／フッソの清水での希釈率はスプレー塗り時で「10～15」、刷毛・ローラー塗り時で「5～10」となります。また、希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
※10　水性シングルサーフの清水での希釈率はスプレー塗り時で「5～15」、刷毛・ローラー塗り時で「3～5」となります。また、希釈率は、施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
※11　水性ヤネフレッシュシリコン艶消しの清水での希釈率はスプレー塗り時で「10～15」、刷毛・ローラー塗り時で「5～10」となります。また、希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
※12　瓦の上下に隙間がないと結露水の通気が不十分となり、素材の腐食、漏水の原因となる場合があります。

参考写真：縁切り

高耐久性屋根用塗料
ヤネフレッシュ シリーズ

■ 性能試験成績表

試験項目		結果 ヤネフレッシュ	結果 ヤネフレッシュSi	結果 ヤネフレッシュF	試験方法
容器の中での状態		合格	合格	合格	JIS K 5600-1-1の4.1　容器の中の状態に準拠
乾燥時間	標準状態	8時間以内	8時間以内	8時間以内	JIS K 5600-3-2　表面乾燥性に準拠
	5℃	16時間以内	16時間以内	16時間以内	
塗膜の外観		合格	合格	合格	JIS K 5600-1-1の4.4　塗膜の外観に準拠
鏡面光沢度（60°）		86	86	86	JIS K 5600-4-7　鏡面光沢度に準拠
耐衝撃性（落球式）		合格	合格	合格	JIS K 5600-5-3の3.2　落球式に準拠、300gのおもりを高さ500mmから落下させる。
付着性（クロスカット法）		分類1以下	分類1以下	分類1以下	JIS K 5600-5-6　付着性（クロスカット法）に準拠
重ね塗り適合性		合格	合格	合格	JIS K 5600-3-4　製品と被塗装面との適合性に準拠
耐酸性		合格	合格	合格	5%硫酸に7日間浸漬
耐アルカリ性		合格	合格	合格	5%水酸化ナトリウムに7日間侵漬
耐湿潤冷熱繰返し性		合格	合格	合格	JIS K 5600-7-4　耐湿潤冷熱繰返し性に準拠 23℃水中18時間、−20℃3時間、50℃3時間を1サイクルとして10サイクル繰返す。

■ 性能試験成績表

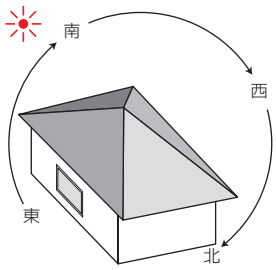
試験項目		結果 水性ヤネフレッシュシリコン	結果 水性ヤネフレッシュフッソ	試験方法
容器の中での状態		合格	合格	JIS K 5600-1-1の4.1　容器の中の状態に準拠
低温安定性（−5℃）		合格	合格	JIS K 5600-2-7の4　低温安定性に準拠
乾燥時間	標準状態	2時間以内	2時間以内	JIS K 5600-3-2　表面乾燥性に準拠
	5℃	4時間以内	4時間以内	
塗膜の外観		合格	合格	JIS K 5600-1-1の4.4　塗膜の外観に準拠
鏡面光沢度（60°）		83	82	JIS K 5600-4-7　鏡面光沢度に準拠
付着性（クロスカット法）		分類1以下	分類1以下	JIS K 5600-5-6　付着性（クロスカット法）に準拠
重ね塗り適合性		合格	合格	JIS K 5600-3-4　製品と被塗装面との適合性に準拠
耐水性		合格	合格	水に7日間浸漬
耐アルカリ性		合格	合格	5%水酸化ナトリウムに7日間侵漬
耐湿潤冷熱繰返し性		合格	合格	JIS K 5600-7-4　耐湿潤冷熱繰返し性に準拠 23℃水中18時間、−20℃3時間、50℃3時間を1サイクルとして10サイクル繰返す。

■ 用　途

●薄型塗装瓦／カラーベスト、コロニアルなど
●トタン屋根（対象は弱溶剤形 P2参照）
●アスファルトシングル
（対象は水性ヤネフレッシュシリコン艶消し P3参照）
●特に劣化の著しい各屋根材の塗り替え※
※モニエル瓦等については別途資料「SKK屋根塗り替えシステム」を参照してください。

■ 塗装順序

東面→南面→西面→北面の順に塗装してください。
吸い込みの著しい箇所は
所要量を多くしてください。



危険情報と安全対策

製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
特に、★印のついている製品は、溶剤形の製品であるため下記の点にご注意ください。
1.引火性の液体であるため、火気厳禁です。
2.有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3.施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように充分注意してください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

■ 荷　姿

水性ヤネフレッシュシリコン（艶有り、艶消し）※4 kg 缶は艶有りのみ
15kg石油缶（標準塗坪:46〜53㎡／缶）
4 kg缶（標準塗坪:12〜14㎡／缶）

水性ヤネフレッシュフッソ（艶有り）
15kg石油缶（標準塗坪:46〜53㎡／缶）
4 kg缶（標準塗坪:12〜14㎡／缶）

水性ヤネフレッシュシーラー
15kg 石油缶（標準塗坪：100〜150 ㎡／缶）

★ **ヤネフレッシュ**（艶有り、3 分艶、艶消し）
16kgセット（主剤14.0kg、硬化剤2.0kg）（標準塗坪:53〜61㎡／セット）
4 kgセット（主剤3.5kg、硬化剤0.5kg）（標準塗坪:13〜15㎡／セット）

★ **ヤネフレッシュ Si**（艶有り、3 分艶、艶消し）
16kgセット（主剤14.0kg、硬化剤2.0kg）（標準塗坪:53〜61㎡／セット）
4 kgセット（主剤3.5kg、硬化剤0.5kg）（標準塗坪:13〜15㎡／セット）

★ **ヤネフレッシュ F**（艶有り、3 分艶、艶消し）
16kgセット（主剤14.0kg、硬化剤2.0kg）（標準塗坪:53〜61㎡／セット）
4 kgセット（主剤3.5kg、硬化剤0.5kg）（標準塗坪:13〜15㎡／セット）

★ **マイルドシーラー EPO クリヤー**
14kgセット（主剤10.5kg、硬化剤3.5kg）（標準塗坪:56〜93㎡／セット）

★ **SK マイルドボーセイ**
16kgセット（主剤12.8kg、硬化剤3.2kg）（標準塗坪:94〜114㎡／セット）
4 kgセット（主剤3.2kg、硬化剤0.8kg）（標準塗坪:23〜28㎡／セット）

水性シングルサーフ
15kg 石油缶（標準塗坪：16〜30 ㎡／缶）

注）上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

SK KAK
本　社
東京支社
札幌支店
仙台支店
東京支店
旭川営業所
仙台住宅開発営業所
青森営業所
盛岡営業所
郡山営業所
新潟営業所
群馬営業所
長野営業所
松本営業所
水戸営業所
大利根工場

このパンフレ
特記仕様が

■ 施工上の注意事項

- □ ゴミやほこり、砂、樹液などの汚染要因は、あらかじめ塗装前に水洗い等で十分に除去した後、さらに十分に乾燥させ、清浄な面にしてください。
- □ ディスクサンダーやワイヤーブラシ、サンドペーパーなどを用いて、さびを入念に除去してください。
- □ 旧塗膜に浮きや剥離箇所があれば、その周辺を含め、入念にケレン除去してください。
- □ 水洗時は滑りやすくなるため、十分に注意してください。
- □ 水洗後や、降雨、降雪後の乾燥を十分に行ってください(冬期３日以上、夏期２日以上)。乾燥が不十分な場合、密着性が低下し、塗膜の膨れ、剥がれなどの原因となることがあります。
- □ ★塗料用シンナーＡを希釈に使用する製品では、他の材料の使用は避けてください。
- □ 材料を希釈しすぎると、隠ぺい力不足やたれ、透けなどの仕上り不良、色別れ等の原因となりますので、注意してください。
- □ 弱溶剤形製品の場合、使用した塗装器具は★ラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- □ 上塗材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率で使用してください。なお、希釈率は色相及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- □ 艶調整品(艶有り以外の３分艶、艶消しなど)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- □ 改装工事において、溶剤形の下塗材を使用される際に、溶剤などの影響で、膨れやちぢみなどの塗膜異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- □ 施工時は、飛散防止のため、十分に養生を行ってください。
- □ 金属露出部がある場合には、発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取ってください。寒冷地や冬季に施工する場合は、朝露や結露の発生に注意してください。
- □ トタン下地が見えている所や、さびの生じている箇所は、ケレン後必ずさび止め塗料を塗装してください。
- □ なみがたトタンの山部分や、トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は膜厚が薄くなりがちです。先に拾い塗りすることをお奨め致します。
- □ 積雪の影響を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部はこすりつけるように増し塗りを行ってください。
- □ 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび、防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- □ かびや藻が付着している場合は、「ＳＫＫカビ除去剤＃５(塩素系)」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- □ 乾燥過程で水(降雨)などの影響を受けると白化することがあります。
- □ 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- □ 他の材料と混合すると、性能低下につながりますので、絶対に避けてください。
- □ 十分な塗膜性能を確保するため、所定の塗回数、所要量を確保してください。
- □ 各標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守り、施工してください。
- □ 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- □ 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- □ 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- □ 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- □ 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- □ JIS K 5629(鉛酸カルシウム錆止め)は、下塗りに使用しないでください。
- □ 有機溶剤を使用している材料は、施工・保管に十分配慮してください。
- □ 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温５℃以下、湿度 85%以上での施工は原則的に避けてください。低温・多湿時に塗装し、表面が十分に乾燥しないまま夜露にあたると艶引けを生じることがあります。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- □ 夏場など下地が高温時(50℃以上)に施工すると発泡、泡かみの原因となりますので、施工を避けてください。
- □ 気象条件により被塗装面に結露が発生した場合には、塗膜の密着不良を生じますので、施工を避けてください。(原則として午前９時～午後３時が推奨施工時間です。)
- □ 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に撹拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- □ 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

SK KAREN

エスケー化研株式会社

URL http://www.sk-kaken.co.jp

特約販売店

本　　社　大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733
東 京 支 社　東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601　国際事業本部 ☎072-621-7727

札 幌 支 店 ☎011-784-4000　千 葉 支 店 ☎043-304-0411　名古屋支店 ☎052-561-7712　神 戸 支 店 ☎078-671-0451
仙 台 支 店 ☎022-259-2431　埼 玉 支 店 ☎048-686-2391　京 都 支 店 ☎075-646-3967　広 島 支 店 ☎082-943-5043
東 京 支 店 ☎03-3204-6601　横 浜 支 店 ☎045-820-2400　大 阪 支 店 ☎072-621-7721　福 岡 支 店 ☎092-629-3427

旭川営業所 ☎0166-51-8094　宇都宮営業所 ☎028-657-5555　横浜住宅開発営業所 ☎045-820-5525　大阪営業所 ☎072-621-7722　北九州営業所 ☎093-621-8505
仙台住宅開発営業所 ☎022-388-8518　東京第一第二営業所 ☎03-3204-6601　厚木営業所 ☎046-294-3666　大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747　福岡営業所 ☎092-622-5561
青森営業所 ☎017-762-3855　東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602　静岡営業所 ☎054-284-1877　南大阪営業所 ☎072-253-1910　福岡住宅開発営業所 ☎092-622-5562
盛岡営業所 ☎019-654-8380　千葉営業所 ☎043-304-0411　浜松営業所 ☎053-462-7021　神戸住宅開発営業所 ☎078-671-0451　大分営業所 ☎097-555-9081
郡山営業所 ☎024-962-7673　千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413　三河営業所 ☎0564-28-1614　姫路出張所 ☎079-281-5311　長崎営業所 ☎095-887-0871
新潟営業所 ☎025-285-6551　埼玉営業所 ☎048-686-2391　北陸営業所 ☎076-266-1041　岡山営業所 ☎086-242-5520　熊本営業所 ☎096-344-5650
群馬営業所 ☎027-280-5350　埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-1586　名古屋営業所 ☎052-561-7712　広島住宅開発営業所 ☎082-943-5053　鹿児島営業所 ☎099-284-5321
長野営業所 ☎026-239-6210　城東営業所 ☎03-3877-7770　名古屋住宅開発営業所 ☎052-589-8783　山口営業所 ☎083-924-7575　宮崎出張所 ☎0985-61-7779
松本営業所 ☎0263-24-2677　三多摩営業所 ☎042-564-5806　岐阜営業所 ☎058-273-1981　高松営業所 ☎087-865-5411　沖縄営業所 ☎098-862-5041
水戸営業所 ☎029-251-6515　横浜営業所 ☎045-820-2400　三重営業所 ☎059-254-3777　松山出張所 ☎089-968-7240

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。
特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

[製作年月:2018年2月](180215.Y-10)